

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

(公財) 東京都交響楽団

2 実施日時

9月13日(金) 11時03分～11時20分

3 団体出席者

- ・団体側出席者：近藤理事長、小野常務理事、
古屋文化振興部長(生活文化局)
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長
小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

現在、都は5Gに力を入れようとしているので、そういう視点でどうい
うことができるのか、少しでも工夫していただければと思う。

都響が海外に出て世界に向けて発信するのは、団員にとっても励みにな
ると思うが、海外で演奏するに費用はいくら位かかるのか。

○近藤理事長

場所にもよるが、ヨーロッパの本場となれば2億ぐらいは蓄えておかな
ければならない。積立はしているが、毎年、あるいは2年おきというの
は難しい状況である。

○小池知事

東京には結構な数の交響楽団があるが、業界事情はどのようになっ
ているのか。

○近藤理事長

東京をベースとする楽団は、10前後あるが、都響とNHK交響楽団と読
売日本交響楽団が3強だと言われている。

財政事情は都から10億円程いただいているが、民間は大変苦しい中
で頑張っている。そこで、我々の頂いているアドバンテージをぜひ還
元していければと思う。

○小池知事

S a L a D音楽祭はいいと思う。ドラクエや野音もとても楽しみである。また、音楽療法というものも、都響がやると価値が出ると思う。

○近藤理事長

これからは体の健康だけではなく、精神的なストレスも多い社会になってくるため、そうした対策は必要だと思う。

バーチャルリアリティがこれからどんどん広がっていく。都響のメンバーがスクリーンに映り、誰でも指揮を振れば、それに合わせて演奏してくれる、そういうものも民間企業と連携して取り組んでいる。

○古屋文化振興部長

今回のS a L a D音楽祭でトライアルした。

○小池知事

耳の不自由な方でも振動が伝わることで音を感じられるような製品もある。そういうものが合うのか分からないが、いろいろな工夫をしていただければ、都響でもSDGsを感じていただけるかと思う。

○遠藤総務局長

上野の美術館、博物館との連携したイベントやご説明のあったVRなどには、施設の問題も出てくるため、ホームグラウンドである東京文化会館と連携していくことが必要だと思うが、いかがか。

○近藤理事長

上野は世界でもユニークな文化施設の集積地である。連携には多様な方法があると思う。また、豊島区も頑張られており、東京芸術劇場との連携や建設予定の野外音楽堂とどのように連携するかということもある。

自分のホールがないというのは、プロには重要な課題なので、普段の練習も自分のホールでできるという形にいずれは持っていきたいと思う。